

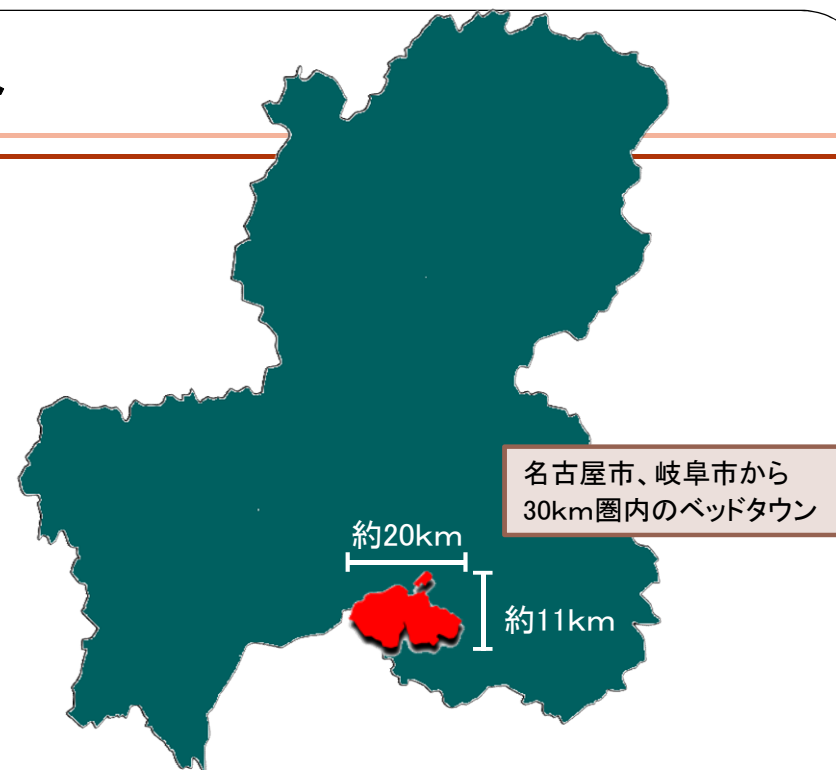
可児市の公共交通について

可児市について

可児市の概要およびあゆみ

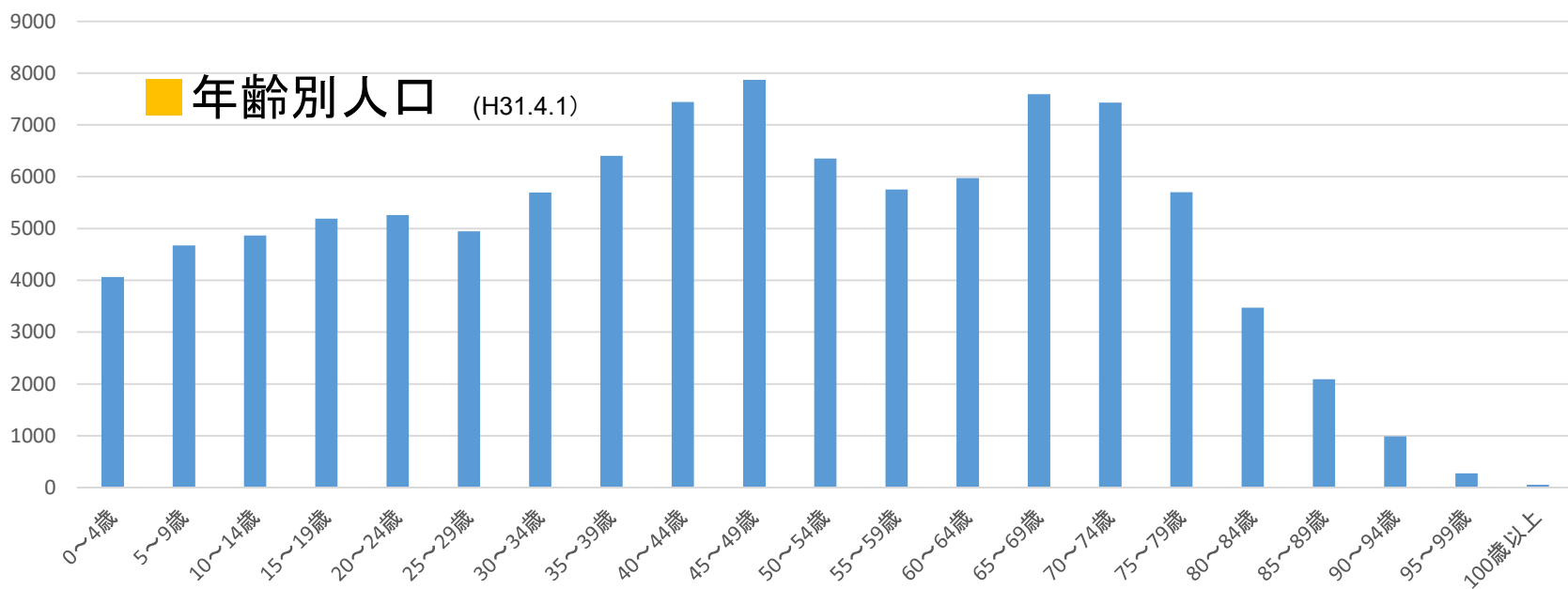
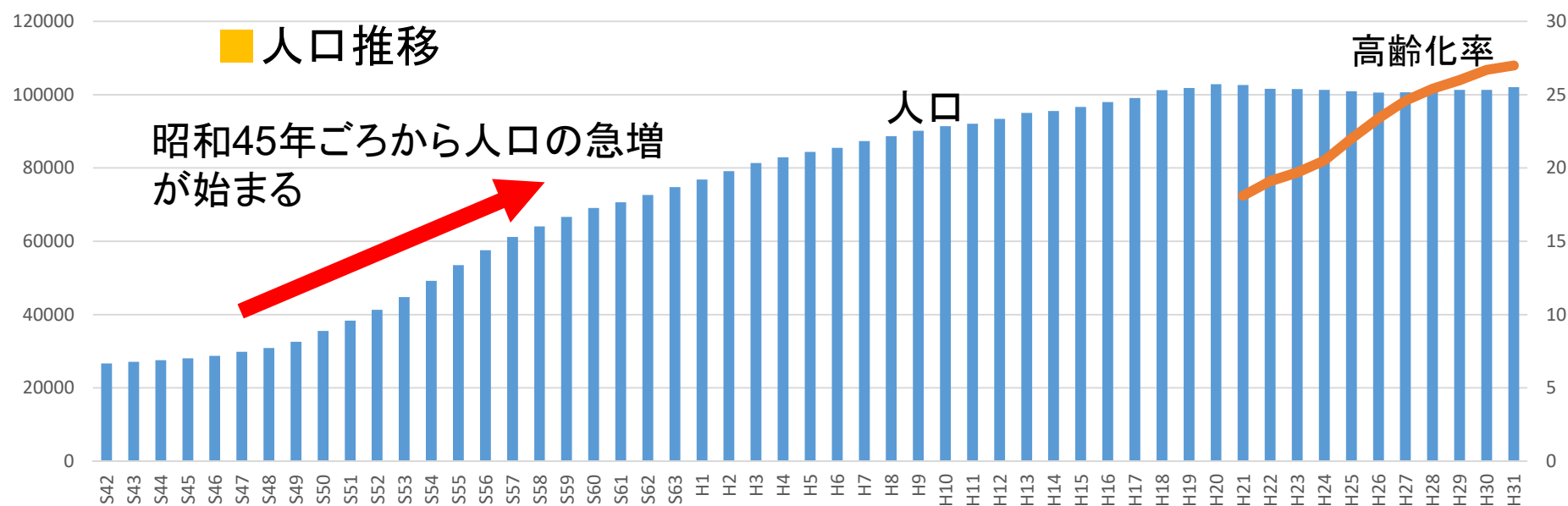
人口	101,977人（R2.4.1）
世帯数	42,881 世帯
面積	87.57 km ²

年代	人口	世帯数
昭和30年	23,587	4,340
昭和40年	26,244	5,284
昭和50年	35,500	8,358
平成元年	76,881	20,995
平成10年	91,401	29,072
平成20年	102,858	37,973
平成25年	100,932	38,860
平成30年	101,292	41,490
令和2年	101,977	42,881

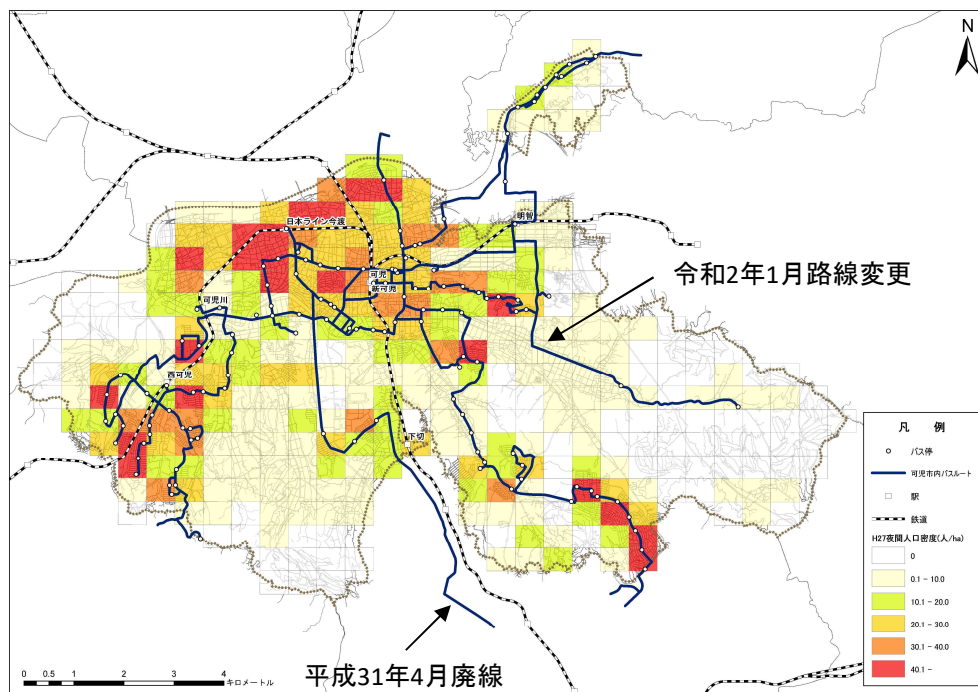


昭和30年	可児郡西部7町村が合併 「可児町」発足（人口2万5663人）
57年	「可児市」市制施行 （人口6万1157人）
平成12年	さつきバス運行開始
17年	可児郡兼山町と合併。 人口10万人突破
22年	「電話で予約バス」運行開始
30年	日曜日・祝日運行 「お出かけしよKar」運行開始

可児市の地域概況



可児市の地域概況



■ 高齢人口密度 (平成27年)

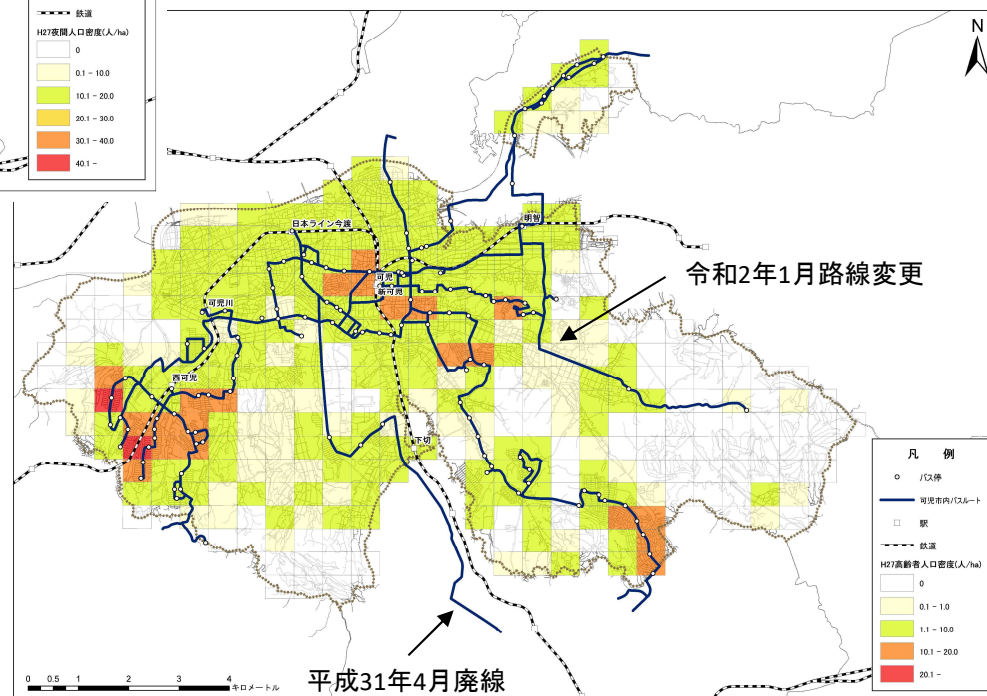
※資料:平成27年国勢調査

※可児市地域公共交通網形成計画より抜粋

■ 夜間人口密度 (平成27年)

※資料:平成27年国勢調査

※可児市地域公共交通網形成計画より抜粋

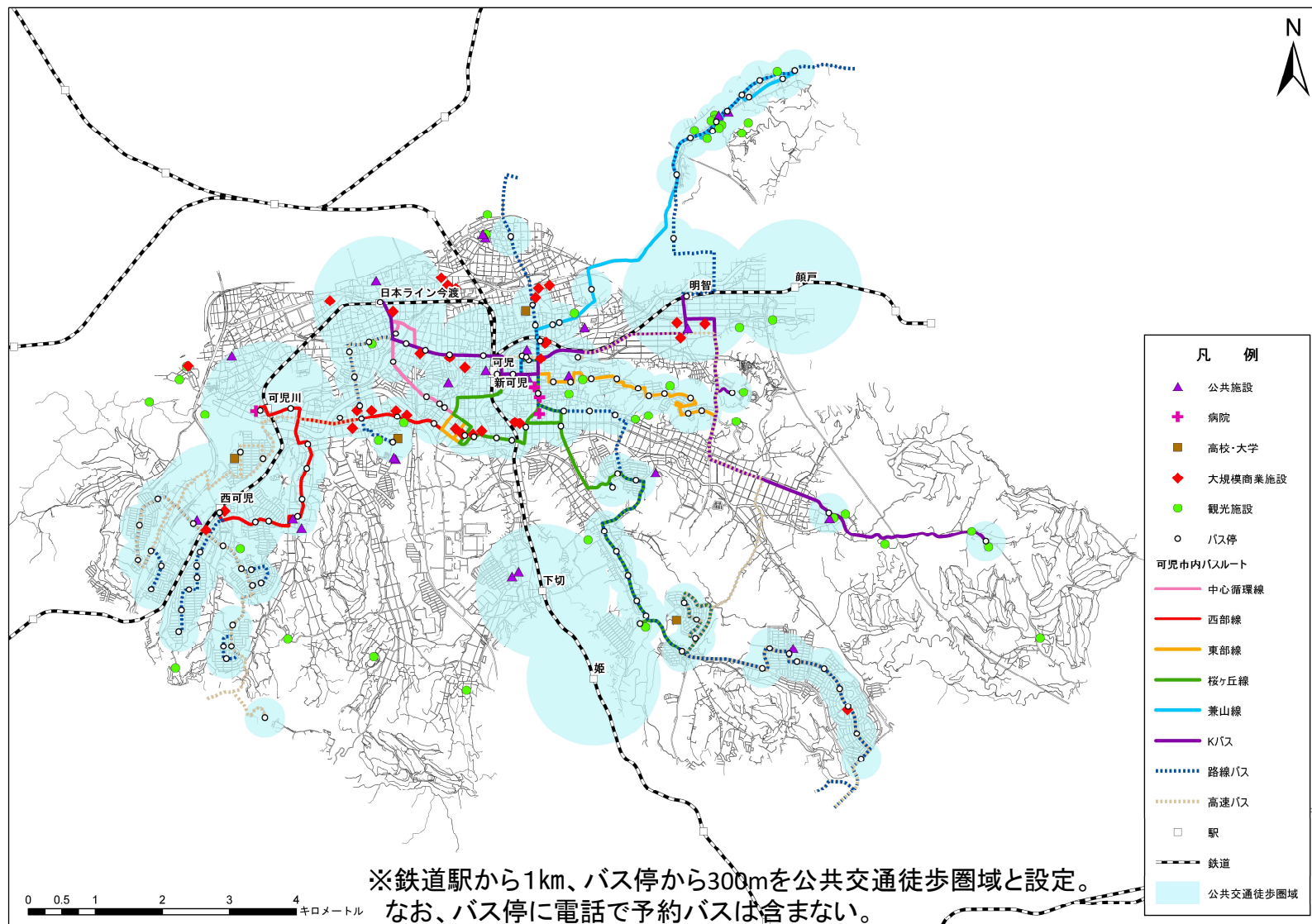


可児市の地域概況

大規模集客施設の立地状況 (平成30年)

※資料:国土数値情報

※可児市地域公共交通網形成計画より抜粋

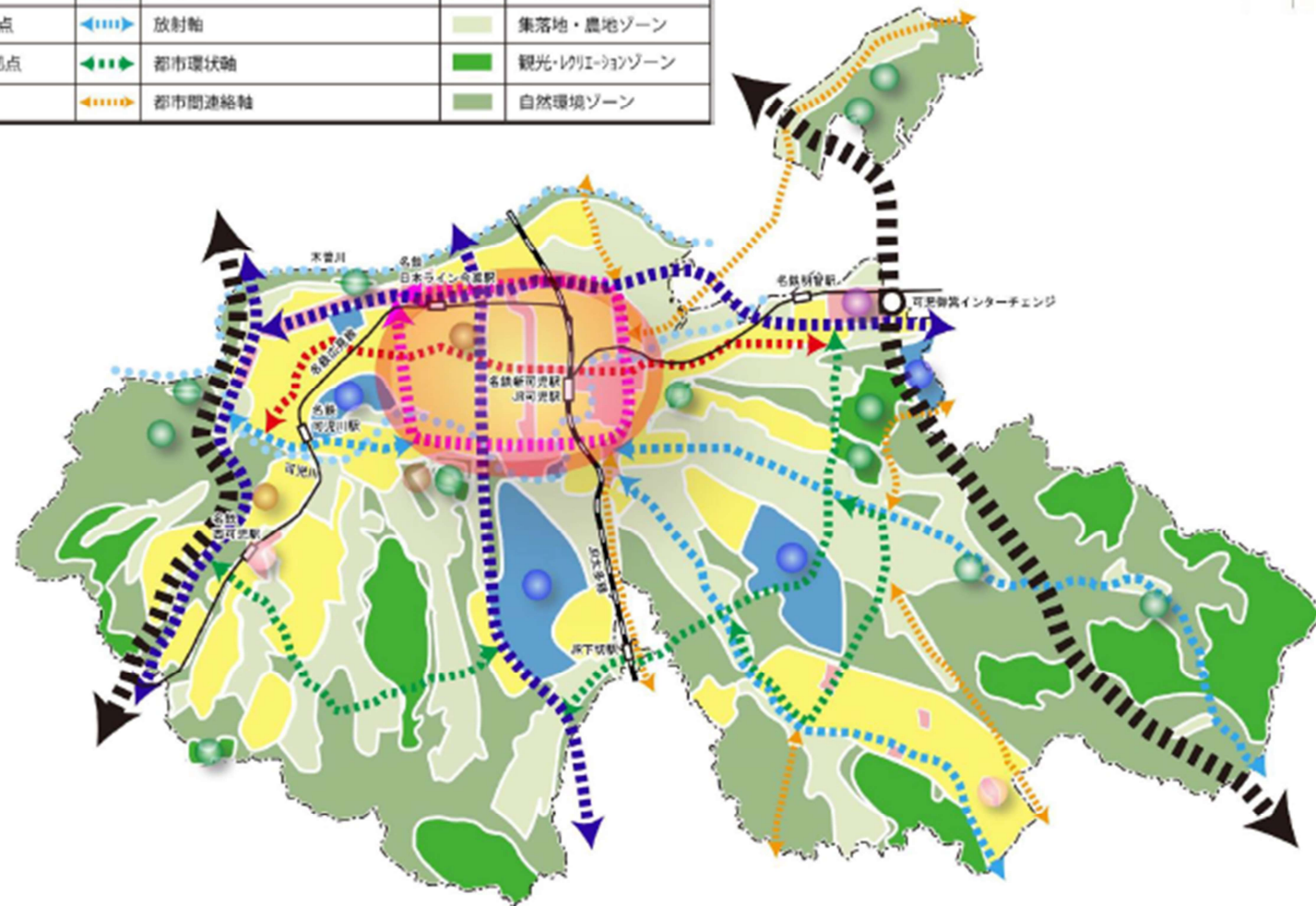


第二次可児市都市計画マスタープラン

凡 例			
	都市機能集積エリア		広域幹線軸 (東海環状自動車道・名濃道路)
	地域生活拠点		広域幹線軸
	工業拠点		市街地環状軸
	広域交流拠点		市街地横断軸
	観光・レクリエーション拠点		放射軸
	学術・文化交流拠点		都市環状軸
	鉄道軸		都市間連絡軸
			河川環境軸
			住居系ゾーン
			商業系ゾーン
			工業系ゾーン
			集落地・農地ゾーン
			観光・レクリエーションゾーン
			自然環境ゾーン

将来都市構造図

※第二次可児市都市計画マスタープランより抜粋



※この図面は、本市の長期的な都市づくりのビジョンとして、「本市が目指す将来の姿」を表す都市構造である。

可児市の公共交通

可児市地域公共交通網形成計画

令和元年7月策定

交通将来像

また来たい ずっと住みたい まちの魅力を支える公共交通

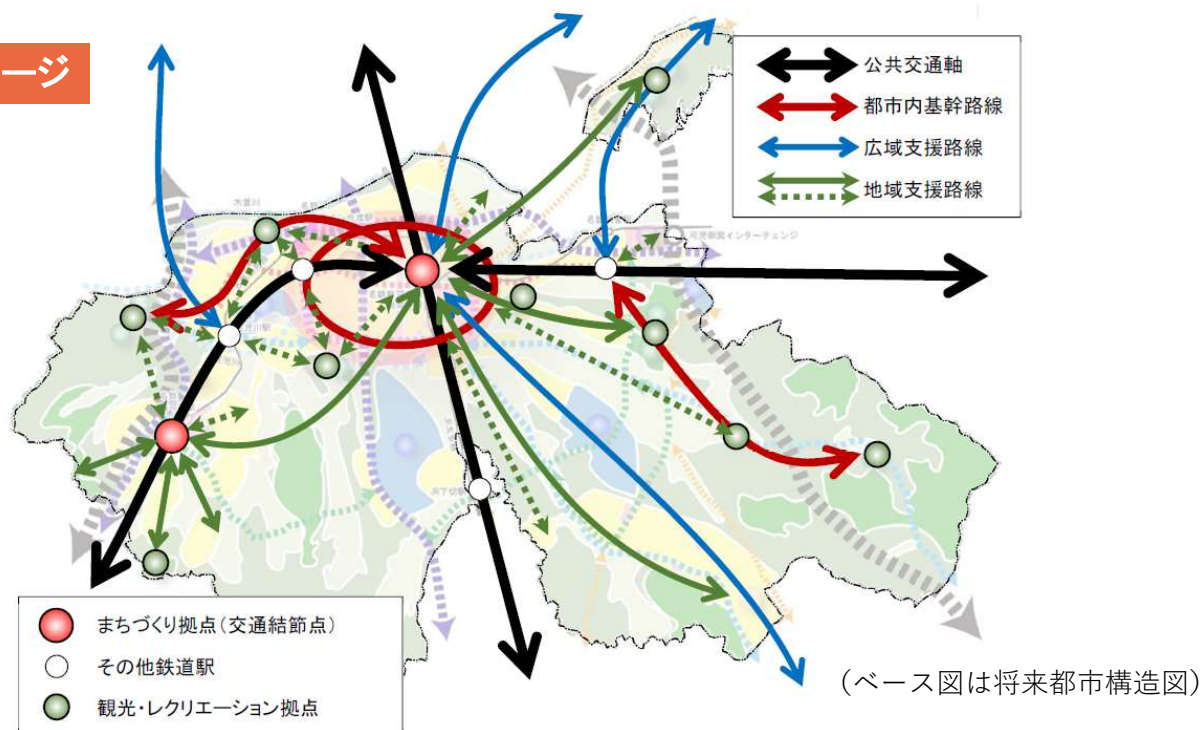
3つの基本方針

基本方針Ⅰ 可児駅・新可児駅、西可児駅を中心とした公共交通ネットワークの維持を基本としつつ、高齢者の日常生活や若者の通学を支える、まちづくりや観光振興と連携した公共交通サービスの提供

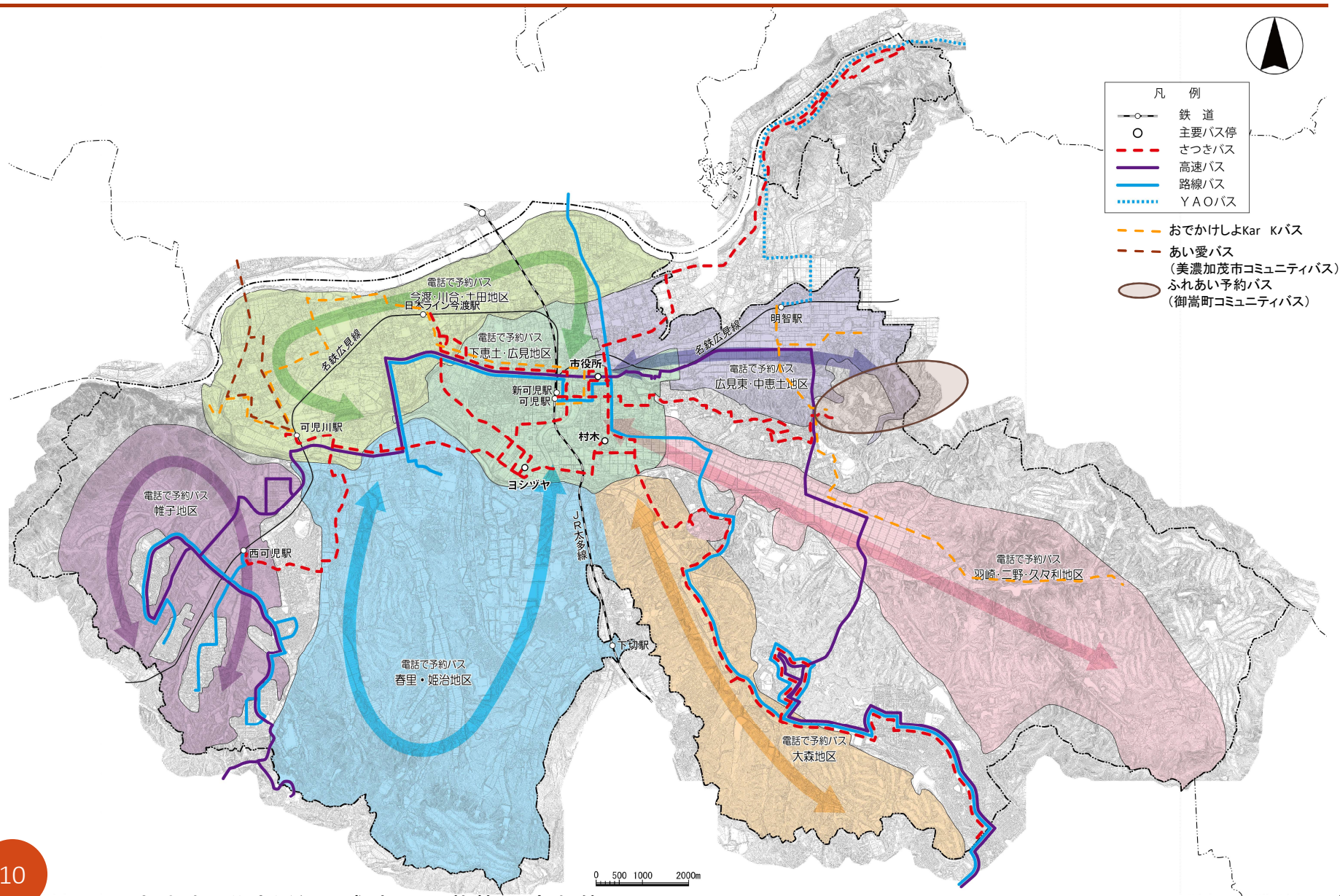
基本方針Ⅱ 地区住民が日常生活の中で安心して利用でき、来訪者にもわかりやすい公共交通利用環境の充実

基本方針Ⅲ 可児市の公共交通に関わる全ての関係者が連携・協働し、公共交通を支え育む取り組みの推進

地域公共交通体系のイメージ



可児市の公共交通の現状



可児市のコミュニティバス

	さつきバス	電話で予約バス	おでかけしよKar Kバス	YAOバス
道路運送法の許可	4条	4条	4条	4条
運行形態	路線定期型	区域運行 ミーティングポイント型	路線定期型	路線定期型
路線数	5路線	7地区	2路線	1路線
実施主体	可児市	可児市	可児市	八百津町 ・可児市・御嵩町
運行主体	東濃鉄道株式会社	可児タクシー株式会社	可児タクシー株式会社	東濃鉄道株式会社
変遷	<div><div><div>H12.10 さつきバス運行開始 (8路線) H14.7 ルート・ダイヤ見直し H16.10 ルート・ダイヤ見直し (9路線) H17.10 ルート・ダイヤ見直し (10路線) H22.4 1路線を廃止 (9路線) → さつきバス廃止エリアで運行開始 (1系統) H23.4 3路線を廃止(6路線) → さつきバス廃止エリアで運行開始 (3系統) H24.4 1路線を廃止 (5路線) → さつきバス廃止エリアで運行開始 (5系統) H24.10 さつきバス1路線を 廃止 (4路線) H25.10 さつきバス 【中心循環線】を 新設 (5路線) H26.10 ルート・ダイヤ見直し H30.10 ルート・ダイヤ見直し</div><div>2系統 運行開始 (7系統) R2.1 運行日に日曜・祝日を追加</div></div><div><div>H27 「休日の市民のお楽しみの 創出」を目的に、日曜祝日の コミュニティバス運行を 検討開始 H29.7～12 実証実験 「おでかけしよKar Kタク (区域運行型)」も合わせて 実証実験を行った H30.4 「おでかけしよKar Kバス Kタク」として本格運行開始 R2.1 運行日に土曜を追加 ・ルート見直し(2路線) 「来訪者の足の確保」も 運行目的に加える 「おでかけしよKar Kタク」を 「電話で予約バス」に統合</div><div>H13.10 名鉄八百津線廃線 H13.10 廃止代替路線として YAOバスの運行開始</div></div></div>			

11